

看護の統合と実践

看護の統合と実践

目標Ⅰ. 看護におけるマネジメントについて基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護専門職の役割		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 A 「サービスとしての看護」 (p.212~214)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 A 「看護ケアのマネジメントと看護職の機能」 (p.16~21)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第7章 A 「クリティカルケア看護と看護管理」 (p.224~229)</p>
	B 看護の質保証		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2 「看護実践とその質保障に必要な要件」 (p.33~46)、第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.276~287)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第3章 I-1 「医療におけるサービスの質の評価」 (p.145~147)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第7章 A-2 「看護ケアの質の保証」 (p.226~227)</p>
	C 情報の管理		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.48~62)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第3章 G 「情報のマネジメント」 (p.128~136)</p> <p>看護情報学 : 第3章 「保健医療と情報」 (p.38~57)、第5章 「医療における情報システム」 (p.86~119)</p>
	D チームアプローチ		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.48~62)、第6章 B-1 「看護サービスの担い手とチーム医療」 (p.215~217)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 D 「チーム医療」 (p.50~60)</p> <p>栄養学 : 第1章 C-4-1 「ニュートリションサポートチーム」 (p.14~15)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第6章 B 「クリティカルケア看護とチーム医療」 (p.215~221)</p> <p>緩和ケア : 第2章 「チーム医療」 (p.14~32)</p> <p>栄養食事療法 : 第1章 B-1 「チーム医療と栄養食事療法」 (p.6~9)</p>
	E 医療安全		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.276~287)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C 「安全管理」 (p.25~50)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 序章 「医療安全を学ぶことのたいせつさ」 (p.2~6)、第7章 A 「組織としての医療安全対策」 (p.216~224)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第7章 B 「クリティカルケア看護と安全管理」 (p.229~235)</p>

目標Ⅱ. 災害看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 災害と看護	A 災害医療と看護		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 B-1 「災害看護の概念と構造」 (p.320~323)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第3章 H-2 「災害対策」 (p.138~145)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 B 「災害医療の基礎知識」 (p.16~61)</p> <p>公衆衛生 : 第10章 B 「災害保健」 (p.330~339)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>救急看護学：第1章 C-3-4「災害時の医療」(p.36～37)、C-3-5「災害看護」(p.37～38)</p>
	B 災害の種類と災害サイクル		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-2「災害と健康」(p.323～323)、3「災害サイクルにそった看護活動」(p.326～333)、6「災害への備えとそのシステム」(p.335～338)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 H-2「災害対策」(p.138～145)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B「災害医療の基礎知識」(p.16～61)、D「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」(p.77～126)</p> <p>公衆衛生：第10章 B「災害保健」(p.330～339)</p> <p>臨外看護：第4章 B-4「災害医療と看護」(p.185～186)</p> <p>救急看護学：第1章 C-3-1「災害の定義と分類」(p.35)、C-3-3「災害サイクル」(p.35～36)</p>
	C 災害各期の看護支援		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3「災害サイクルにそった看護活動」(p.326～333)、4「心理的回復の過程」(p.333～334)、6「災害への備えとそのシステム」(p.335～338)</p> <p>在宅看護論：第4章 D-3「災害時の在宅看護」(p.115～119)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 H-2「災害対策」(p.138～145)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 D「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」(p.77～126)、E「被災者特性に応じた災害看護の展開」(p.126～149)</p> <p>公衆衛生：第10章 B「災害保健」(p.330～339)</p> <p>救急看護学：第1章 C-3-5「災害看護」(p.37～38)</p>

目標Ⅲ. 国際社会における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 国際化と看護	A 看護のグローバル化		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A「国際化と看護」(p.290～320)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章 H「国際化社会と看護」(p.308～315)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第4章 A「国際看護学とは」(p.210～220)、B「グローバルヘルス」(p.220～228)</p>
	B 多様な文化と看護		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-7「日本に在留する外国人の看護」(p.311～317)、8「異文化理解」(p.317～320)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章 H「国際化社会と看護」(p.308～315)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第5章 D「文化を考慮した看護」(p.237～246)</p>
	C 看護の国際協力活動		<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-4「国際協力のしくみ」(p.300～307)、A-6「国際看護活動の展開」(p.309～311)</p> <p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第5章 E「国際看護活動の展開過程」(p.246～250)、F「開発協力と看護」(p.251～272)、G「国際救援と看護」(p.272～300)</p> <p>公衆衛生：第5章「国際保健」(p.110～121)</p> <p>救急看護学：第1章 C-3-7「国際緊急援助」(p.39)</p>